資　料　№.　２

施　　政　　概　　要

（案）

令和８年第４回（１２月）市議会定例会

四　街　道　市

予定事項等が含まれていることや、１１月１９日時点の内容であることから、今後の状況により、内容を変更する場合があります。

【はじめに】

本日、ここに、令和８年第４回四街道市議会定例会を招集いたしましたところ、議員各位にはご参集をいただき、誠にありがとうございます。

本定例会に提案いたしました案件につきましては、よろしくご審議くださいますようお願い申し上げます。

それでは、施政の概要について申し上げます。

はじめに、物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金を活用した市の独自支援策について申し上げます。

介護サービス事業所及び障がい福祉サービス等事業所に対する支援については、安定的かつ継続的なサービスの提供が図れるよう、入所施設に２０万円、その他の施設に１０万円の支援金給付を開始しました。

農業者に対する支援については、地域農業の持続性を図るため、年間農産物販売額が５０万円以上の農業者に対して、１１月１６日から支援金の申請受付を開始しました。

次に、分野ごとの主要施策について申し上げます。

【分野別の主要施策】

「安全・安心」の分野でございますが、防災対策の推進については、大規模災害に係る行動や対応を検証及び評価するため、副市長をトップに、各部等の副参事級職員で構成する「四街道市災害対応等検証会」を設置しました。現在、「令和８年８月千葉豪雨」への対応に関する検証作業を進めており、２月末を目途に結果をまとめてまいります。

消防・救急の充実については、１１月７日、８日の両日、中央小学校を会場に「消防フェスティバル四街道２０２６」を開催しました。放水やロープ渡りなどの体験型イベントに加え、警察など関係機関との連携による働く車の展示や、未来の消防を体験できるコーナーなどを設け、子どもたちをはじめ多くの方に、楽しみながら消防・防災への理解を深めていただきました。

「健康・福祉・子育て」の分野でございますが、高齢者福祉の充実については、「四街道市高齢者保健福祉計画及び介護保険事業計画第１０期計画」の策定に向け、１１月９日に四街道市保健福祉審議会高齢者部会を開催し、計画素案についてご意見をいただきました。今後は審議会でいただいたご意見を踏まえ、計画案を取りまとめ、パブリックコメント等の手続を進めてまいります。

地域福祉の充実については、生活困窮世帯の中学生を対象に、学習支援や安心して過ごせる居場所を提供するため、１０月１６日から総合福祉センターにおいて「学習・生活支援教室『サクラソウ』」を開催しています。

子育て支援の推進については、こどもを望む夫婦が早期に検査を受け、必要に応じて相談や治療につながることができるよう、１０月１日から不妊検査に係る費用の一部助成を開始しました。

また、家族の介護や日常生活上の世話を過度に行っている子どもの早期発見や、ヤングケアラーに関する周知啓発などを目的として、１０月下旬から１１月中旬にかけて、小学校５年生から中学校３年生までを対象に生活実態調査を実施しました。

「教育・文化・スポーツ」の分野でございますが、学校教育の充実については、キャリア教育の一環として、将来を担う中学生が、平和の大切さについて学び、自分らしい生き方や社会との関わりについて考え、主体的に行動する力を育むことを目的として、１０月１０日、１１日の両日、中学生１０名を被爆地である長崎市に派遣しました。

また、「中学生が描く未来」の作文では、中学校３年生が自ら想い描く「理想のまち」をテーマとした作文に取り組み、そのうち優秀作品として選ばれた１０作品の発表会及び表彰式を１１月１０日に本議場で開催しました。生徒が作品に込めた四街道の未来への想いをしっかりと受け止め、これからのまちづくりにつなげてまいります。

外国にルーツを持つ子どもへの支援では、市内の外国籍住民の現状を把握するとともに、異文化や生活習慣に対する理解を深めるため、１０月１５日に大日小学校において、四街道警察署から講師をお招きし、学校教職員を対象とする国際理解教育研修会を開催しました。

生涯学習の推進については、愛国学園大学と共催で行う市民大学専門課程において、総合テーマに「現代日本社会の『共存・共生』」を掲げ、１０月から来年２月までに全８回の講座を開講しています。

芸術・文化の振興については、１０月３１日から１１月５日まで旭公民館を

会場に児童生徒作品展を開催しました。絵画、工作工芸、書写等の作品を展示し、市民相互の交流及び芸術・文化活動の振興を図りました。

また、１２月５日に開催を予定している、市内の歴史的建造物や社寺などを巡る文化財散歩に向け、準備を進めています。

スポーツの振興については、スポーツの日の行事として、１０月１０日に総合公園体育館を主会場に「スポーツ de 健康大作戦」を開催し、体力測定や体験教室など様々な種目にチャレンジできるプログラムを実施しました。また、１１月１５日には「第５回四街道 WALLABY RUN」を開催し、活気あふれるランナーの皆さんが総合公園を駆け抜けました。

「くらし・環境」の分野でございますが、住環境の整備については、「四街道市立地適正化計画」の策定に向け、市民の皆様に計画の目的や内容について理解を深めていただくため、市役所で開催するパネル展の準備などを進めています。また、市街化調整区域における無秩序な市街化の拡大を抑制するため、都市計画法第３４条第１１号に基づく県条例による連たん区域の指定に向け、千葉県へ申出書を提出しました。

道路網の整備については、安心して利用できる道路交通基盤を整備するため、向井物井線及び側道北１号線の舗装修繕工事や市内各所の通学路交通安全対策工事を進めています。

また、自転車利用環境の整備では、大日緑ケ丘６９号線ほか１路線において矢羽根整備工事を発注しました。

循環型社会の推進については、「環境省 令和７年度補正予算 自治体による物価高騰対策に資するリユース等支援事業」の採択を受け、本市で初となるリユースイベント「だれかのほしいにつなげよう～みんなでつなげるサンタの輪～」を１２月１１日、１２日の両日に開催するため、準備を進めています。

また、次期ごみ処理施設の整備では、千葉県が策定を進めている「一般廃棄物処理長期広域化・集約化計画案」の中で示された、本市を含む広域化の新たな枠組みを踏まえ、近隣自治体とのごみ処理の広域化の可能性について、話し合いを進めています。

「にぎわい・共創」の分野でございますが、商工業の振興については、１１月７日、８日の両日、中央公園を主会場に「第４９回四街道市産業まつり」を開催しました。関係団体の協力の下、採れたての農作物や市内のグルメ、商工業製品などの展示・販売を行ったほか、千葉敬愛高等学校ダンス部による

ステージイベントなど様々なプログラムが披露され、会場は多くの来場者でにぎわい、活気にあふれていました。

魅力の創出については、市外からの交流人口の増加を図るとともに、親子の絆やふるさと四街道への愛着を育むイベントとして、１１月２９日に総合公園で「親子でリアル謎解きゲーム in 四街道市」を、１２月５日に市役所駐車場で「Yotsukaido candle night ２０２６」をそれぞれ開催するため、準備を進めています。

魅力の発信については、子育て世代を中心とした若い世代の転入を促進するため、本市の魅力を分かりやすく伝えるＰＲパンフレットの発行に向け、「日常の幸せな一瞬」をテーマとした写真の公募や、子育て中のご家族への取材を通じた特集記事の制作などを進めています。

ダイバーシティの推進については、１０月１３日に四街道市男女共同参画審議会を開催し、「第４次四街道市男女共同参画推進計画」の中間見直し案に対するご意見をいただきました。今後は審議会でいただいたご意見を踏まえ、パブリックコメント等の手続を進めてまいります。

「将来に向けた持続可能な行財政運営」でございますが、計画的な歳入確保については、伝票事務の効率化とキャッシュバックによる新たな歳入の獲得を目指し、クレジットカード決済の導入に向け、公募型プロポーザル方式により決済事業者を決定しました。

また、歳計現金等の管理では、昨今の経済環境の変化による金利上昇を受け、１０月２１日に無利子の決済用普通預金口座から利子付きの普通預金口座への切替を行いました。これにより、自主財源となる利子収入を確保してまいります。

利用しやすい施設環境の整備については、市役所敷地内において、１０月２２日に京葉銀行のＡＴＭが、１１月５日にコンビニエンスストア「ローソンサテライト四街道市役所店」がそれぞれ営業を開始し、来庁者や周辺地域の皆様が利用できる環境が整いました。

以上、これまでの施政の概要について申し上げました。

今後とも、市民一人ひとりが身近にある幸せを実感でき、笑顔と笑顔がつながり合う明るいまちづくりをみんなで進めるべく、市民目線を大切に、市政運営に全力を注いでまいります。

議員各位におかれましては、より一層のご理解とご協力をお願い申し上げます。

令和８年１１月２４日

四街道市長　　鈴木　陽介